

# 大学院理工学研究科RA研究発表会

Poster session, 'RA' Graduate School of Science and Engineering, CHUO UNIV.

日 時	2017年12月 1日(金)	
	15:30~16:30 ポスター展示(自由見学) *15:30~ Coffee Hour	16:30~18:00 ポスターセッション(発表者全員参加) *17:00~ Light Meal
共 催	中央大学大学院理工学研究科・中央大学理工学研究所	
場 所	中央大学後楽園キャンパス 3号館 10階 大会議室(31008号室)	
発表方法	ポスター展示及びポスターセッションにより発表を行います。	
参 加	参加無料。ご自由にお入りください。	
問合せ先	中央大学研究支援室 TEL(03)3817-1602・1678/ FAX(03)3817-1677	
◇17:00ご挨拶 ◆理工学研究所長 鎌倉 稔成 ◆研究開発機構長 築山 修治		◇18:00 ご挨拶 ◆理工学研究科委員長 檜山 和男

専攻	RA氏名	『研究テーマ』	研究代表者
数学	1 杉山 佑樹	Bott tower と Demazure 加群の指標と次元	高倉 樹
	2 山崎 雄一郎	SU(3)に付随する二重ウェイト多様体のシンプレクティック体積とその応用	高倉 樹
	3 谷口 晃一	非有界領域における分散型方程式の時空評価式	松山 登喜夫
	4 山本 健人	代数体上の代数多様体の高次 Chow 群の構造	佐藤 周友
物理学	5 真下 太郎	焦点可変レンズを用いた高密度冷却 ルビジウム原子集団の生成	東條 賢
	6 松本 匡貴	ゲージ・重力対応を用いた非平衡相転移の解析	中村 真
	7 本田 良二郎	円形プール内におけるバクテリア細胞の運動の解析	脇田 順一
都市環境学	8 諸岡 良優	洪水時の避難情報及び浸水状況が住民の避難行動へ及ぼす影響に関する研究	山田 正
	9 柿沼 太貴	可能最大降雨に対応したリスクマネジメントと土木計画手法の確立を目指した基礎的研究	山田 正
	10 丁 青	メソ粒子に着目した凝集-膜ろ過に最適な凝集剤の選定	齋藤 邦夫
	11 凌 国明	2次元・3次元ハイブリッド手法による津波シミュレーションの高度化とVR可視化研究	檜山 和男
	12 立山 政樹	十分発達した河口砂州の洪水流による開口機構に関する研究	檜山 和男
都市人間環境学	13 小石 一字	可能最大降雨に対応したリスクマネジメントと土木計画手法の確立を目指した基礎的研究	山田 正
電気電子情報通信工学	14 長坂 崇史	媒質ストリップによる平面電磁波の回折に関する研究	小林 一哉
応用化学	15 山田 将大	レドックス活性錯体分子の外場誘起不均化に基づく機能発現システムの構築	張 浩徹
	16 小宮山 剛司	アリール(トリアルキル)シランを用いるクロスカップリング反応	石井 洋一
	17 船木 亮佑	人工酸素運搬体の保存安定性と脳梗塞治療薬としての効果	小松 晃之
経営システム工学	18 秋元 良友	線分の角度データのクラスタリングと空間データのモデリング	鎌倉 稔成
	19 阿部 興	部分的に観測された線分の統計的観測	鎌倉 稔成
	20 村上 昌志	感性の高度なモデル化とその応用(知覚感性の高精度なモデル化および相互理解支援技術の研究)空間の大域的構造の研究	加藤 俊一
情報工学	21 梅田 博之	高度連結ネットワーク世界で生じる学際的トピックへのアルゴリズム論的研究	浅野 孝夫
情報セキュリティ科学	22 クアン スゴック ヒエウ	誘電体からの電磁波散乱に関する近似解法の研究	白井 宏
	23 チュ バヒエン	メタマテリアルを利用した新しいアンテナ設計の研究	白井 宏
	24 鄭 子才	FDTD法によるダイポールアンテナシミュレーション精度評価についての研究	白井 宏
生命科学	25 小菅 清二	分裂酵母*Schizosaccharomyces pombe*における減数分裂時のDNA複製チェックポイントについて	村上 浩士
	26 武部 友亮	蝦夷層群産後期白亜紀鈣化植物化石群の系統分類学的研究	西田 治文

RA(リサーチ・アシスタント)制度は、中央大学が主体的に行う共同研究プロジェクトの研究活動の補助業務を行い、研究活動の強化・充実を図り、併せて大学院生の研究能力の向上に資するものです。理工学研究所・研究開発機構研究発表会と同時に開催し、後楽園キャンパスでの研究成果を一同に会した発表の場となります。お気軽に会場までお越し下さい。